

# 風水害から命を守るために 私たちにできることを

これから大雨や土砂災害などが発生する時期になります。災害を未然に防ぐことはできませんが、被害を減らすことはできます。そのためには、日ごろから十分に備えておくことが大切です。

お問い合わせは危機管理課☎421-6716へ。

## 八千代市浸水ハザードマップで 水害リスクの確認を

台風や豪雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができます。

日ごろから気象情報に関心を持ち、八千代市浸水ハザードマップを使って、自宅や住んでいる地域が風水害にあいやすいかどうかを確認しておくことも必要です。

マップは、市ホームページからWeb版防災ハザードマップを閲覧できるほか、危機管理課・各支所の窓口でもハザードマップを配布しています。



## 非常用持ち出し袋の準備を

すぐに避難できるよう、非常持ち出し品の準備をしましょう。持ち出し袋は徒歩での避難を考慮して、無理なく背負える量で。

- 飲料水
- 最低3日分の食料
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 救急セット(常備薬)
- お薬手帳
- 使い捨てカイロ
- 予備電池
- マスク
- 体温計
- 携帯充電器
- 軍手
- 洗面具
- ウェットティッシュ
- タオル
- 雨具
- 下着などの衣類
- 携帯トイレ
- 現金などの貴重品
- アルコール消毒液

## 避難所での新型コロナウイルス 感染症対策を進めています

市では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営に関する対策を進めています。避難所の受付では「健康状態チェックリスト」を配布し、避難者一人ひとりの健康管理を行います。また、避難所に避難する場合は、マスクや体温計、アルコール消毒液等、感染症予防に必要なものを持参しましょう。

近所の避難所をいくつか把握しておけば、密集を避けられます。親戚や友人宅などの安

全な場所に避難することも考えておきましょう。株式会社バカンの運営するVACAN Mapsで避難所の混雑状況をインターネットで確認できるようになりました。「空いています」「やや混雑」「混雑」「満」の4段階です。

コードから読み取り、すぐに確認できるよう、あらかじめお気に入りなどに登録をお願いします。



## 避難情報は5段階で発令します

浸水害や土砂災害などの避難情報は5段階の警戒レベルで発令します。レベル3では高齢者や幼児とその支援者が浸水想定区域や土砂災害警戒区域など危険な場所から避難を、レベル4では全員が危険な場所から速やかに避難してください。危険を感じたときは、警戒レベルに関わらず早めに行動しましょう。

## 災害時における防災情報を 次の方法で入手できます

市では防災無線をはじめ、ホームページ、やちよ情報メール、ツイッターなどを使って



出典：(財)消防防災科学総合センター <http://www.isad.or.jp/>

防災や緊急時の情報をお知らせしています。

■市ホームページ トップページの「いざというときは」から、「防災無線」、「防災メール・Twitter」で最新の情報や配信履歴を確認できます。また、トップページ上部の「くらしの情報」から防災マップなどが見られます。

■やちよ情報メール 事前登録が必要です。防災・防犯・環境・火災などの情報を、登録したメールアドレスへ配信。防災無線で放送した内容も確認できます。下のコードを読み取るか、yachiyo@sg-m.jpへ空メールを送って登録してください。迷惑メールとして認識されないように@city.yachiyo.chiba.jpからのメールを受信できるよう設定してください。



■Twitter 防災・緊急情報などを発信。パソコンや携帯電話・スマートフォンなどで見られます。フォローや返信はしません。

[https://mobile.twitter.com/yachiyo\\_shi](https://mobile.twitter.com/yachiyo_shi)

■自動電話応答サービス 防災無線で放送した内容を電話で確認できます。通話料は無料です。☎0120-970-911

	▽警戒レベル	▽避難情報など	▽避難行動(とるべき行動)
市が発令	5	緊急安全確保	すでに災害が発生している状況です 命を守るための最善の行動をとりましょう
	4	避難指示	①「浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」などに住んでいる人は、速やかに避難しましょう ②避難先までの移動が危険と思われる場合、近くの高い建物や自宅の中でも二階に上がるなど、より安全な場所に避難しましょう
	3	高齢者等避難	①高齢者、障害のある人、乳幼児など、避難に時間を要する要配慮者とその支援者は避難しましょう ②その他の人は、避難の準備を整えましょう
気象庁が発令	2	大雨注意報 洪水注意報	避難に備え、浸水ハザードマップなどで、自らの避難行動を確認しましょう
	1	早期注意情報 (警報級の可能性)	今後、大雨警報などが発表される可能性があります 気象情報に注意して、災害への心構えを高めましょう

広告